

令和2年度 始業式（4月6日）

先ずは、今日の始業式に生徒の皆さんが、無事に登校できたことをうれしく思います。そして、この1か月以上の間、皆さんと家族の方々がそれぞれにウイルス感染から身を守る行動をしてきていたことに感謝いたします。ありがとうございます。今日から令和2年度が始まります。国内はもとより、世界中がまだ混乱しています。県内での感染も増えています。生徒の皆さんも、ウイルスを正しく恐れ、引き続き予防を続けてください。学校も、マスク、消毒、行事の行い方など予防対策をします。先生たちと一緒に学校の安全を守っていきましょう。

では、新学期の挨拶にあたり二つの話をします。それは、当たり前のことへの感謝と、夢に向かってです。

さて、令和2年の歳が明けたとき、東京オリンピックの開催に様々な人々の夢が描かれていたと思います。まさか、世の中がこのようなことになるとは誰も予想していませんでした。当たり前にあったことが当たり前ではなくなってしまいました。学校もその一つです。授業ができない。部活動ができない。大会もなくなる。友達とも会えない。これまで、当たり前にあったことがどれほど大切なものだったのだということを改めて強く感じました。皆さんはどうだったでしょうか。きっと同じような思いをしたのではないのでしょうか。近年、国内では地震や洪水などの自然災害で学校での授業ができなくなることが多くありました。今回の新型コロナウイルス感染症拡大では、私たちも学校という当たり前をひととき失う経験をしました。ウイルスと世の中の混乱は残っていますが、壊れたものはありません。そして、今日、新学期での学校再開というチャンスを得ました。勉強、部活動、友達、家族。これまで見ていた当たり前のことに改めて感謝の気持ちを持って、一日一日を大切に過ごしましょう。

次は夢に向かってです。昨年、東彼杵中学校として新たなスタートを切った本校の校訓です。また、昨年の本校を象徴する文字として「和」という一文字が当てられました。千綿中と彼杵中が統合した、「プラス」という意味の「和」は、新しい出会いが学校に活気を与え、友人関係の輪の広がりを願うものでした。また、この文字は「なごむ」とも読め、学校が皆さんにとって、「和む」場所になってほしいという願いからでした。

2年目を迎え、私は今年の文字を「進」と「深」の二文字を当てます。

進は進化。ポケモンでも使われている言葉で聞いたことがあるでしょう。昨年1年間で作られた本校の特色や良さをもとにさらに新しい伝統を創り出していきたいと夢を持ちました。そして「深」の深化。昨年的一年間でもこれまでの千綿中と彼杵中のそれぞれの良さが融合した真新しい伝統が築きあげられました。その伝統を守りさらにより良いものに磨き上げていきたいという夢を持ちました。新しいものを創る進化、今あるものを磨き上げる深化。これが、生徒の皆さんと一緒に向かう本年度の本校の夢です。この夢の実現には皆さんの力が必要です。皆さんがそれぞれ心にもつ夢に向かって頑張ることで、皆さんの夢も学校の夢も形になっていきます。学校と私たち先生は、その皆さんの夢の手伝いをしていきます。

最後に、生徒の皆さんの学びを創ること。東彼杵中学校の2年目の歴史を創ること。この二つの創る夢に向かってを先生方と保護者、地域の方々と力を合わせていきましょう。

令和2年4月6日 校長 東本 伸二